

# AIRHEADS通信

vol.

60

## エンジニアなら納得！？シンプルな管理の功罪 【クラウドWi-Fi事例探訪 後編】

平素より「Airheads通信」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

HPE Aruba パートナーSE部の野村です。

健康と体形を気にするようになって、昨年从高尾山健康登山を始めました。  
(詳細はGoogleで検索すると出てきます)



高尾山までは電車で3駅なので、昨年は年間で100回程、高尾山に登りました。  
繰り返し登っていると、ふくらはぎ辺りに筋肉が付いてきて、  
最近は薬王院まで往復2時間で行けるようになりました。  
毎回写真の浄心門と、煩惱と同じ108段の階段がある男坂を通って薬王院まで行っています。



高尾山はミシュランの3つ星に選ばれていて、登山客はものすごく多いのですが、ゴミがほとんど落ちていません。ゴミ箱が設置されていないので登山客がゴミを持ち帰ると、ボランティアの方々の清掃活動のおかげです。

利用者が皆で協力すれば、気持ちよく登山できる環境は作れるものだと感心しています。これって、Arubaの技術であるクライアント・マッチに通じるものがあると思います。皆で協調して全体が快適に利用できる環境が作られるという所が同じですね。

6月は登山に適した気候ですので、時間がある方は高尾山を訪れてみては如何でしょうか。その際は持ち帰り用のゴミ袋を忘れずに。

## エンジニアなら納得！？シンプルな管理の功罪 【クラウドWi-Fi事例探訪 後編】



クラウドWi-Fiに切り替えたfreee株式会社訪問の第二弾。Aruba Centralにて有線無線を統合管理できるようになり、シンプルな運用を手に入れたようですが、いい面と悪い面があるようで。大輔と美咲も気になる、できるエンジニアならではのマイナスポイント(?)についてお届けします。



## 大輔（だいすけ）

A市役所のIT推進室から転職して、現在は世界的なお菓子メーカーであるD&W社の情報子会社に転職。ネットワーク統括部のメンバーとしてグローバルなIT基盤の運用管理を担う。実際にはITの知識があまりなく、いつも周囲に頼ってばかりいる。

## 美咲（みさき）

大輔と同じくA市役所職員から転職した、もと大輔の部下。大輔が所属する情報子会社の親会社にあたる、グローバル本社のD&W社システム企画部に所属。社会人歴はわずか3年ほどだが、平成生まれのデジタルネイティブ世代として、ITの知識は豊富。



改めて、クラウドWi-Fiを新たに導入したfreee株式会社の木戸さんにお話を伺います。



すでに稼働されてから数カ月が経過していますが、どんな形で導入しているんですか？



7フロアある東京本社のすべてのフロアでArubaのL2スイッチ及びAPを5台ずつ設置し、Aruba Centralにて有線無線の管理を行っています。



以前の運用管理はどうされていらっしゃいましたか？アラートなどの情報は何かで集約して管理していたと思うんですけど。



以前はSNMPをZabbixに飛ばして監視していましたね。今はAruba Centralを中心に運用管理しています。



以前の環境に比べてどうですか？



快適に運用できています。うちって、Windows UpdateやMacOSのセキュリティUpdateなどを行う機会が多いのですが、他社AP配下で実施する場合に比べて2分の1ほどの時間で処理が完了できています。



処理時間が短くなれば、業務もすぐに再開できますので、時間も無駄になりませんね。





実は社内でChromecastを利用してPC上の画面をモニタで共有することが多いのですが、これがマルチキャストの通信なのでAPのCPUに負荷がかかっていたのです。2~30人が常時張り付いた状態で、CPU使用率が100%近くにある状況が多くみられました。



そんな使い方もしているんですね。  
確かにマルチキャストだと負担がかかりますもん。



でも、今のArubaの環境を見ると...えっと同じ環境でもCPU負荷が20%ぐらい。



そんなに違うの？



ある意味、驚きの数字です。電波調整を自動的に行うARMや、パフォーマンスの偏りを調整するエアタイム.フェアネスなどが寄与していると思うんですが、とにかく通信環境は快適です。



確かに自動調整の機能が優れているので、いろんな機能が複合的に絡み合っ、うまく調整できているんでしょうね。



実は1台のAPをオフにして稼働させたこともあるんですが、誰にも気づかれず、快適な状態が維持できました。  
自動的にうまく負荷分散してくれているようです。



そういうことってこっそりやってるんですね（笑）。管理者としては手間のかからない運用のほうがいいでしょうし、自動化できるメリットは大きいですね。



いや...シンプルだからいいというわけでもなくて。



そうなんですか？負担がかからない方がいいと思うんですけど。



以前はSNMPを飛ばしてZabbixにてアラートを検知し、Slack上にアラート情報を提供するといった、ある意味複雑なインテグレーションを行っていました。これってかなり複雑ですが、逆にエンジニアとしての力量が評価されるという面があるので。



シンプルにできてしまうと、腕の見せ所がなくなってしまうと。



それってできるエンジニアの悩みだなあ。  
僕なんてそんなこと、自分でできないもの。



全然自慢になっていませんよ。



でもまあ、結果として運用管理が格段に楽になり、属人化を解消することができたのは大きいですからね。



トラブルシューティングもしやすくなってます？



以前はVPNを経由してコントローラにアクセスして状況を確認するという手順でしたが、今はAruba Centralにアクセスするだけ。手間は格段に減りましたね。スマートフォンからだって確認できますから。



でも、これって他社の無線LANも試しているからこそ、Arubaの良さが実感できる場所なのかもしれませんね。



確かに他社製品だと、Chromecastのような特定アプリを使うための設定を内部的に行う必要がありますが、海外サイトを調べても分からず、結局そのアプリを使うためだけに別の無線を使わざるを得なかった、なんてこともありますから。Arubaであればそういうことがないので、使いやすいことが実感できます。



今後はどう展開していくのでしょうか？



実はユーザ認証を強化するために、ClearPassなども検討したいと考えています。



おお、ClearPassを検討しているんですね。



まずは自前で証明書を作成してクライアントに展開することを考えていますが、いずれはClearPassにてしっかりとした認証基盤を作りたいですね。



ClearPassがあれば、次世代ファイアウォールと連携してアクセス制御の自動化も可能ですし、いろいろできることが増えますから。



あとは、本社ではフロアが分かれているので、ビーコンなどを使ってどこにいるのが可視化できるような環境も整備したいと考えています。



Aruba Beaconを使えば、オフィス内の従業員に関する位置情報検出も可能ですからね。



位置情報ねえ。僕なんか絶対知られたくないけどなあ。



どうしてです？社内であればデスクの周辺にいることが多いんですか？別に大輔さんのところはフロアがまたがっているわけでもないですし。



ああ、それ聞いちゃう？いや、結構本社に顔出す機会が多いからさ。



それが何か？



うちってお菓子メーカーだから、自由に食べていい試作品って本社に置いてあるじゃない？位置情報を統計でみると、「大輔はいつもお菓子が置かれたエリアにいるな」って上司に知られると、なんか恥ずかしいじゃない。



え！？いまさらそんなこと...試作品が目的で本社に顔を出していることが知られていないと思っていたことに驚愕ですよ...

## 本号のAirheads通信のPDFはこちら

[URLxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx](#)

===== 【おしらせ】 =====

Airheadsアカデミーシーズン2 第1回の動画を公開しました！

下記URLよりご覧いただけます。

<https://www.it-ex.com/distribution/securitynetworksolution/arubabiz/airheads-japan/>

=====

### バックナンバー

- ▼ 見えるから解決！ 無線LANトラブル1 うまくつながらない (vol.1~2)
- ▼ 見えるから解決！ 無線LANトラブル2 遅くなったように感じる！ (vol.3~6)
- ▼ 予知できるから安心！ 無線LANトラブルの回避 トリガー設定編 (vol.7~10)
- ▼ コントローラ内蔵APが現場を救う！ 無線LAN導入のススメ (vol.11~21)
- ▼ 認証ソリューション「ClearPass」による安全対策のイロハ (vol.22~25)

- ▼ Office 365/Skype for Businessによるワークスタイル変革に最適な無線LANの勘所 (vol.26~28)
- ▼ パブリックに出せないインフラに俊敏性と拡張性を実現、フレキシブルキャパシティ (vol.29~31)
- ▼ それ選んじゃダメなの！？後悔しない“クラウドWi-Fi”選びの視点 (vol.32~34)
- ▼ WannaCryの対策がワカラナイ... HPE Aruba的ランサムウェア対策のススメ (vol.35)
- ▼ 失敗事例に学ぶクラウドWi-Fiの落とし穴 大輔が見た真実 (vol.36~37)
- ▼ 大輔的シリコンバレー見聞録 (vol.38~40)
- ▼ もう取り寄せた？無料入手「HPE Networking製品カタログ」がすごい件 (vol.41)
- ▼ “犯人は無線”冤罪を証明するClarityって何？ (vol.42~43)
- ▼ 大輔が行く！マカオ「APAC Atmosphere 2017」ルポ (vol.44~46)
- ▼ 慶應義塾大学が5種類のAPを使い分けるわけ...事例探訪 (vol.47)
- ▼ IoT時代のネットワークづくりに貢献「ArubaOS 8」って何がスゴイの？ (vol.48)
- ▼ 今年の学びを総決算！リーナ通信2017年振り返り (vol.49)
- ▼ 大輔的シリコンバレールポ (vol.50~54)
- ▼ “SDNその先へ” (vol.55~58)
- ▼ クラウドWi-Fi事例探訪 (vol.59~)

バックナンバーは、下記サイトにて公開しております。

<https://www.hpe.com/jp/ja/networking/mailmagazine.html>

※最新版が掲載されていない場合もありますが、随時掲載して参りますので後日ご確認ください。